

— 総括表 —													
◆ 事業計画													
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性													
<p>令和5年3月末の人口データによると、エリア人口は11,746人(うち65歳以上3,439人)であり、高齢化率は29.4%と住民の高齢化は加速している。地域の特徴であるいわゆる団塊の世代が多く住んでいることが、高齢化率の急上昇の要因である。半面、介護認定率は14.16%と市内包括圏域で一番低く、元気な高齢者が多い地域である。</p> <p>霧が丘地区の住宅整備から40年余りが経過し、住民の高齢化の加速に伴う様々な課題が予測され、住民主体の見守りネットワーク事業の継続や、つながりづくり、介護予防、認知症予防、支え手としてのボランティア活動の仕組みづくりが課題である。</p> <p>霧が丘地域ケアプラザでは、「霧が丘まちともプラン」と名付け、①いきいきと暮らす②仲間とつながる③学んで備える④安心して暮らすの4つのテーマを目標に、専門性を活かしつつ地域と共に取り組むことで、住民主体型で継続性のある取り組みが地域資源となることを目指していく。また今後の生活を見据えた老い支度準備や成年後見制度等の活用で、老いをポジティブに捉えられるよう支援に取り組むことを目標にしていく。ICTを活用し、地域の情報を積極的に発信していく。</p>													
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組													
新規	継続 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">— 具体的な取組内容 —</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center; padding: 5px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 5px;"> ■ 「霧が丘健康チェックの日」を保健活動推進員と協力して開催し、健康づくり・介護予防の意識を高める。毎月開催することで、地域の見守りの活動につなげていく。 コロナ禍で取り入れた予約制をやめ、当日の参加者を受け入れ、新規の方を含め参加者の増進を図る </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">■</td> <td style="padding: 5px;"> □ 養育者の意見を聞く機会として子育て支援座談会を開き、養育者のニーズや課題や近隣で困っている養育者の情報を聞く。養育者のニーズや課題は子育て支援事業に取り入れ養育者に寄り添った内容として参加者を増やす。困っている養育者の情報はこども家庭支援課など関係各所につなぐ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 5px;"> ■ 障害児者と地域住民が交流できる「霧が丘あおぞら・ほっとる一む」を開催し、ケアプラザが障害児者のサードプレイスとなるように、また専門相談が受けられる場とする。また、地域住民が得意な活動で障害者と交流するボランティア活動の場として提供する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 5px;"> ■ 横浜市「チームオレンジ」モデル事業として、霧が丘キャラバンメイト連絡会を継続開催し、認知症サポーター養成講座が自治会や地域住民等さらに活動が広がるようにする。認知症を発症しても霧が丘で安心して住み続けられるような町になるよう支援していく。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 5px;"> ■ 単位自治会やUR管理組合等と連携し、出張相談会を開催する。地域の身近な場所で健康チェックや各種相談を受けられる体制を整える。 </td> </tr> </tbody> </table>	— 具体的な取組内容 —		<input type="checkbox"/>	■ 「霧が丘健康チェックの日」を保健活動推進員と協力して開催し、健康づくり・介護予防の意識を高める。毎月開催することで、地域の見守りの活動につなげていく。 コロナ禍で取り入れた予約制をやめ、当日の参加者を受け入れ、新規の方を含め参加者の増進を図る	■	□ 養育者の意見を聞く機会として子育て支援座談会を開き、養育者のニーズや課題や近隣で困っている養育者の情報を聞く。養育者のニーズや課題は子育て支援事業に取り入れ養育者に寄り添った内容として参加者を増やす。困っている養育者の情報はこども家庭支援課など関係各所につなぐ。	<input type="checkbox"/>	■ 障害児者と地域住民が交流できる「霧が丘あおぞら・ほっとる一む」を開催し、ケアプラザが障害児者のサードプレイスとなるように、また専門相談が受けられる場とする。また、地域住民が得意な活動で障害者と交流するボランティア活動の場として提供する。	<input type="checkbox"/>	■ 横浜市「チームオレンジ」モデル事業として、霧が丘キャラバンメイト連絡会を継続開催し、認知症サポーター養成講座が自治会や地域住民等さらに活動が広がるようにする。認知症を発症しても霧が丘で安心して住み続けられるような町になるよう支援していく。	<input type="checkbox"/>	■ 単位自治会やUR管理組合等と連携し、出張相談会を開催する。地域の身近な場所で健康チェックや各種相談を受けられる体制を整える。
— 具体的な取組内容 —													
<input type="checkbox"/>	■ 「霧が丘健康チェックの日」を保健活動推進員と協力して開催し、健康づくり・介護予防の意識を高める。毎月開催することで、地域の見守りの活動につなげていく。 コロナ禍で取り入れた予約制をやめ、当日の参加者を受け入れ、新規の方を含め参加者の増進を図る												
■	□ 養育者の意見を聞く機会として子育て支援座談会を開き、養育者のニーズや課題や近隣で困っている養育者の情報を聞く。養育者のニーズや課題は子育て支援事業に取り入れ養育者に寄り添った内容として参加者を増やす。困っている養育者の情報はこども家庭支援課など関係各所につなぐ。												
<input type="checkbox"/>	■ 障害児者と地域住民が交流できる「霧が丘あおぞら・ほっとる一む」を開催し、ケアプラザが障害児者のサードプレイスとなるように、また専門相談が受けられる場とする。また、地域住民が得意な活動で障害者と交流するボランティア活動の場として提供する。												
<input type="checkbox"/>	■ 横浜市「チームオレンジ」モデル事業として、霧が丘キャラバンメイト連絡会を継続開催し、認知症サポーター養成講座が自治会や地域住民等さらに活動が広がるようにする。認知症を発症しても霧が丘で安心して住み続けられるような町になるよう支援していく。												
<input type="checkbox"/>	■ 単位自治会やUR管理組合等と連携し、出張相談会を開催する。地域の身近な場所で健康チェックや各種相談を受けられる体制を整える。												
◆ 事業報告・事業実績評価													
<input type="checkbox"/> 振り返り													
<input type="checkbox"/> 区からのコメント													

令和6年度霧が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>公共施設であることを常に念頭に置き、住民、地域団体、サービス事業所等に対して、公正・中立な立場で業務を行なうように努める。</p> <p>公正・中立な対応を図るため、利用者が事業所を選択する際には、オリジナルの「サービス事業所一覧」を活用し、事業所の偏りがないようにする。</p>	<p>事業を運営する際には、事故を予防するよう十分配慮するとともに、万が一事故が起きた際には、迅速・的確に対応する。</p> <p>個人情報を扱う際には、保護の重要性を認識し適切に取り扱い、個人の権利利益を侵害することのないように努める。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>プランに地域のインフォーマルサービス等を組み込む等、地域の特性を生かし、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援を行っていく。</p>	<p>地域との「顔の見える関係」や「つながり」を大切に、利用者様自身の立場に立ち、住み慣れた地域でその方らしく、より自立した生活を過ごしていただけるよう支援していく。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p>
	<p>【その他料金】</p> <p>なし</p>	<p>【その他料金】</p> <p>なし</p>
職員体制	<p>管理者 1名(兼務)</p> <p>社会福祉士 1名 保健師 1名</p> <p>主任介護支援専門員1名 プランナー1名</p>	<p>管理者 1名(兼務)</p> <p>主任介護支援専門員 1名</p> <p>介護支援専門員 2名</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	生活基盤を整えるサービスを行い、在宅生活の継続をサポートする。他者との交流や体操等に取り組み、介護度維持につなげる。	ご家族様と密に連携を図り、在宅支援を行う中でそれぞれのニーズに合ったサービス提供を行う。	
実施体制	【実施日数】 月曜日～土曜日 【提供時間】 9:30～18:00 【定員】 35名	【実施日数】 月曜日～土曜日 【提供時間】 9:30～18:00 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 食事負担(おやつ代含む)800円 レクリエーション代 100円～	【その他料金】 食事負担(おやつ代含む)800円 レクリエーション代 100円～	【その他料金】
職員体制	管理者1名相談員1名看護師1～2名	管理者1名相談員1名看護師1～2名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「霧が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,304,152		20,304,152		20,304,152	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	3,948,000		3,948,000		3,948,000	
収入合計	24,252,152	0	24,252,152	0	24,252,152	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,378,152	0	13,378,152	0	13,378,152	法人本部経費は含まれていない
本俸	10,436,152		10,436,152		10,436,152	
社会保険料	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
手当計	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	4,600,000	0	4,600,000	0	4,600,000	法人本部経費は含まれていない
旅費	120,000		120,000		120,000	
消耗品費	1,885,000		1,885,000		1,885,000	
会議開費	50,000		50,000		50,000	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	700,000		700,000		700,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費	100,000		100,000		100,000	
施設賠償責任保険	300,000		300,000		300,000	
職員等研修費	300,000		300,000		300,000	
振込手数料	35,000		35,000		35,000	
リース料	250,000		250,000		250,000	
手数料	130,000		130,000		130,000	
地域協力費	80,000		80,000		80,000	
その他	550,000		550,000		550,000	
事業費	760,000	0	760,000	0	760,000	法人本部経費は含まれていない
運営協議会経費			0		0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	760,000		760,000		760,000	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)			0		0	
管理費	4,998,000	0	4,998,000	0	4,998,000	法人本部経費は含まれていない
光熱水費	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
清掃費	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
機械整備費	70,000		70,000		70,000	
設備保全費	454,000	0	454,000	0	454,000	
空調衛生設備保守	52,000		52,000		52,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	195,000		195,000		195,000	
害虫駆除清掃保守	37,000		37,000		37,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	120,000		120,000		120,000	
共益費			0		0	
その他	674,000		674,000		674,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていない
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	42,000		42,000		42,000	法人本部経費は含まれていない
支出合計	24,252,152	0	24,252,152	0	24,252,152	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	760,000	0	760,000	0	760,000
自主事業 収支	△ 760,000	0	△ 760,000	0	△ 760,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「霧が丘地域ケアプラザ」名」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,523,942		25,523,942		25,523,942	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,940,154		5,940,154		5,940,154	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	31,918,096	0	31,918,096	0	31,918,096	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,886,696	0	26,886,696	0	26,886,696	法人本部経費は含まれていない
本俸	17,344,696		17,344,696		17,344,696	
社会保険料	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
手当計	6,000,000		6,000,000		6,000,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,713,700	0	1,713,700	0	1,713,700	法人本部経費は含まれていない
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議ठी費			0		0	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	450,000		450,000		450,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費	50,000		50,000		50,000	
施設賠償責任保険	200,000		200,000		200,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	32,000		32,000		32,000	
リース料	250,000		250,000		250,000	
手数料			0		0	
地域協力費	20,000		20,000		20,000	
その他	71,700		71,700		71,700	
事業費	1,629,000	0	1,629,000	0	1,629,000	法人本部経費は含まれていない
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	230,000		230,000		230,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他			0		0	
管理費	1,562,700	0	1,562,700	0	1,562,700	法人本部経費は含まれていない
光熱水費	700,000		700,000		700,000	
清掃費	420,000		420,000		420,000	
機械整備費	18,000		18,000		18,000	
設備保全費	160,000	0	160,000	0	160,000	
空調衛生設備保守	14,000		14,000		14,000	
消防設備保守	13,000		13,000		13,000	
電気設備保守	53,000		53,000		53,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	70,000		70,000		70,000	
共益費			0		0	
その他	264,700		264,700		264,700	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていない
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていない
支出合計	31,918,096	0	31,918,096	0	31,918,096	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	999,000	0	999,000	0	999,000
自主事業 収支	△ 999,000	0	△ 999,000	0	△ 999,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

2024年4月1日～2025年3月31日

施設名:霧が丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,800		1,800	3,450		3,450	23,700		23,700	57,363		57,363	2,932		2,932	26,758		26,758
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,322	0	10,322	1,861	0	1,861	4,507		4,507
	事業-負担金収入			0			0			0	6,374		6,374	326		326	2,973		2,973
				0			0			0	3,948		3,948	1,535		1,535	1,534		1,534
				0			0			0			0		0		0		0
				0			0			0			0		0		0		0
	その他			0			0			0			0		0		0		0
	収入合計(A)	1,800	0	1,800	3,450	0	3,450	23,700	0	23,700	67,685	0	67,685	4,793	0	4,793	31,265	0	31,265
支出	人件費			0			0	16,000		16,000	34,525		34,525	13,426		13,426	20,304		20,304
	事務費			0			0	700		700	4,011		4,011	1,560		1,560	1,763		1,763
	事業費			0			0	950		950	9,974		9,974	3,878		3,878	5,139		5,139
	管理費			0			0			0			0		0				
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	利用者負担軽減額			0			0			0			0		0		0		
	消費税			0			0			0			0		0		0		
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0		0		0		
				0			0			0			0		0		0		
	その他			0			0			0			0		0		0		
	支出合計(B)	0	0	0	0	0	0	17,650	0	17,650	48,510	0	48,510	18,864	0	18,864	27,206	0	27,206
	収支 (A)-(B)	1,800	0	1,800	3,450	0	3,450	6,050	0	6,050	19,175	0	19,175	-14,071	0	-14,071	4,059	0	4,059

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	よこはまシニアボランティア登録研修会	H26	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	横浜市が実施しているよこはまシニアボランティアポイント事業の研修を身近で受けられるようにし、事業の普及を図る。また、年複数回実施することで地域住民がボランティアに登録できる機会を増やすと共に、ケアプラザでの事業のボランティア活動に関心を持っていただく。	1：高齢者		研修を受講したケアプラザ職員が講師となり、地域住民に対しよこはまシニアボランティアへの登録の説明を行う。		
2	利用者懇談会	H20	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザに登録している団体同士が交流し情報交換をすることで、各団体の活性化につなげる。また、館内の共通ルールの伝達及び確認をすることで、各団体への周知を図る。	5：地域		登録団体が集まり、各団体の活動紹介や情報交換を行う。併せて館内の貸館ルールの伝達を行う。		
3	うたごえ倶楽部	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	懐かしい歌や季節の歌をピアノとギターの手芸を通じて、ボランティアで地域に貢献するとともに仲間づくりをうながし、閉じこもりを予防する。近隣学校との連携を通じ、児童・生徒との交流も図る。	5：地域		ピアノとギターの伴奏に合わせ、唱歌や歌謡曲等をリクエストにこたえながら歌っていただく。会場設営、受付等を地域住民ボランティアに協力していただく。		
4	霧サボ手芸班	H27	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	手芸を通じ、ボランティアで地域に貢献するとともに仲間づくりをうながし、閉じこもりを予防する。近隣学校との連携を通じ、児童・生徒との交流も図る。	5：地域		若葉台特別支援学校の生徒の体に合わせたクッションカバーや布教材を製作する。		
5	まちとも囲碁将棋サロン	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	誰でも気軽に囲碁と将棋を楽しめるサロンを設け、閉じこもりや認知症を予防し、世代間や地域住民同士の交流の機会を作る。	5：地域		だれでも囲碁と将棋を楽しめるように場所と道具を提供する。夏休みには小学生に囲碁を教えて世代間交流を行う事業を実施する。		
6	スケッチ水彩画	H28	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	初めての方でも楽しめる指導で水彩画を描き、趣味の幅を広げる。趣味を共有することで閉じこもりや認知症を予防し、世代間交流や仲間づくりをすすめる。	5：地域		初心者向けのスケッチおよび水彩画の教室を開催する。		
7	ぬりえアート	H27	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	誰でも気軽に始められるぬり絵をおこない、趣味にうちこみ楽しみを共有する。閉じこもりや認知症を予防し、仲間作りを進める。	5：地域		マンダラぬり絵を中心に、初級・中級・上級と教材を準備し、講師指導のもと、塗り絵教室を開催する。		
8	もくもくひろば	H26	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就園児(0～3歳位)と養育者のふれあいの場を作り、子育ての情報交換やママ友づくりにも役立てる。また養育者の孤立や閉じこもり・虐待を予防する。	3：養育者及び乳幼児		簡単な工作やパネル作り、音楽遊びを通して気軽な雰囲気の中で親子がゆっくりと過ごせる場を設ける。		
9	夏休み子どもプログラム(EV(電気自動車)模型を作ろう)	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏休みの子供の居場所を作るとともに、モーターの仕組みをつかった科学実験、モーターを使った自動車模型工作を通して理科への興味を引き出す	4：子ども・青少年		モーターの模型を作りモーターの仕組みを理解し、モーターを用いた自動車を工作する。		
10	夏休み子どもプログラム(キッズチャイニーズ)	H30	4：共催(1と2)	1：優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所を作ることや、異文化体験を目的としている	4：子ども・青少年		簡単な中国語会話や中国の話を聞き、異文化を知る。		
11	夏休み子どもプログラム(ストーンアートに挑戦)	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	近隣の小学生向けに夏休みの工作教室をNPO法人レクタスとの共催で行う。	4：子ども・青少年		NPO法人レクタスの講師を招き、障害を持つ子供とともに工作教室を体験する。		
12	夏休み子どもプログラム(こども囲碁・将棋教室)	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。	4：子ども・青少年		囲碁や将棋の初心者の小学生が囲碁・将棋を学ぶ。小学生と地域ボランティアの世代間交流も行う。		
13	冬休み子どもプログラム(書き初め大会)	H25	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がい児も参加できる環境を整えた書き初め講座を行うことで、小学生と高校生・住民の世代間交流を図る。	4：子ども・青少年		地域の講師と高校生ボランティアの協力のもと、書き初めを行う。		
14	自然を楽しむ散歩の会	H25	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	緑豊かな環境の霧が丘の自然に触れ、街の魅力を再発見するとともに、参加者同士で交流をはかる。	5：地域		緑区ガイドボランティアを中心に、霧が丘近隣の四季折々の植物の解説や地域の歴史を聞きながら歩く。		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	霧の里清掃(花植え)	H20	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	霧が丘連合自治会の沿道美化に合わせ、霧の里の花壇整備と花植えを行う。	5: 地域		霧の里内の花壇等の除草や整備、花植えを通じて、地域住民同士の交流を図る。		
16	はるかぜコンサート	H25	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ登録団体がコンサートへ参加して日頃の成果を発表することにより、意欲の向上や他団体との交流を図る。	5: 地域		日頃の練習の成果を発表する場としてリモートコンサートを開催し、YouTubeにて配信する。		
17	子育てまちともひろば	H28	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	第5木曜日に開催することで木曜日は全て子ども関連事業が開催されることとなる。身近な場所での居場所をつくり、また相談できる場として、木曜日に開催している子育て支援事業充実を図る。	3: 養育者及び乳幼児		リトミックやヨガなど養育者の興味のあることで交流し、親子のふれあいの場として提供する。		
18	出張! あおぞら霧が丘ほっとる〜む	H29	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がい者支援事業として気軽に参加できる場を提供し障がいの理解を深める。	2: 障害児・者		ケアプラザを利用する登録団体の協力により、歌やヨガ、ダンスを通じて、障害者の方が地域と交流できる場とする。		
19	霧が丘まちとも はつらつ体操	R3	2: 地域包括支援センター運営事業	2: 発展させるねらい	体操をしたいと思っている人が、気軽に参加できるような環境を作り、まちともづくりから見守りにつながる体操教室とする。	1: 高齢者		音楽に合わせたストレッチ運動で体をほぐし、ロコモ予防のためのバランス機能・筋力アップ体操と認知症予防のための脳トレ体操を行なう。地域ボランティアに運営を協力していただき、地域での役割作りを図る。		
20	健康チェックの日	H20	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	日頃から健康を意識し、病気の早期発見、健康増進・介護予防活動につなげる機会とする。	5: 地域		体組成測定、身長・血圧測定などの計測。骨の強さ測定、血管年齢測定、足指力測定 今年度はコロナ禍のため、感染対策を踏まえた開催方法を保活と定期的な打ち合わせを実施。新メニューである足指力測定の研修も行う。		
21	まちともカフェ	H28	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域住民の仲間づくりや閉じこもり予防の支援と認知症への理解を促す。	5: 地域		ぬり絵、スケッチ、手芸など趣味を楽しみながら地域の仲間との時間を過ごすとともに、ケアプラザからの認知症に関する情報提供など、日常の中での認知症への理解や支援方法を学ぶ機会を持つ。		
22	認知症サポーター養成講座	H21	4: 共催(1と2)	2: 発展させるねらい	地域住民に認知症の正しい理解と支援方法を学んでいただくとともに地域のメイトのスキルアップを図る。またサポーターからメイトへの支援もしていく。	5: 地域		登録サークル参加者及び地域住民対象に認知症について正しく理解してもらい、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を養成し、さらに発展させメイトの資格取得も促し地域での活動を担える人材を育成する。		
23	行政書士による個別相談会	H24	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	元気な今だからこそ、家族のために、自分のために、誰もが迎えるその時のために、準備をしておくことが大切であると考え、遺言・相続・成年後見に関する相談会を企画。	1: 高齢者		行政書士による遺言・相続・成年後見に関する無料個別相談会を実施する。		
24	介護技術入門!	H30	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	霧が丘地区社会福祉協議会、霧が丘地区ボランティア相談室・ひまわり教室、民児協と共催し、ボランティアをされる方及び地域の方々に、介護の際に注意する基本的なことを学び、介護をする際に役立ててもらおう。	1: 高齢者		声のかけ方や杖を利用されている方への対応、車いすの使い方等ボランティアで介護する際に必要な基本的な技術を学ぶ。		
25	霧が丘版LIFEノート書き方講座	H30	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	霧が丘地域では高齢化率が高い、老後生活について今から学び備えることが必要である。住民主体で作った「LIFEノート」を活用し、老い支度の普及啓発を行う。	1: 高齢者		住民主体で作ったノートや冊子を活用し、老い支度の普及啓発を行う。		
26	家族信託と任意後見	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	「財産がないので成年後見は必要ない」という考えを持つ人が多く、権利擁護としての視点から成年後見制度の正しい知識や後見業務の実際について理解してもらおう。	5: 地域		人権週間に合わせて講座を開催する。		
27	介護者のつどい	R1	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	介護者の精神的な負担を軽減、介護の孤立化を予防し虐待予防を図る。	1: 高齢者		家族介護者に施設見学や介護についての情報提供や介護者同士のつながりを作りお茶でリラックスしながら情報交換や体験談などを語り合っていた。原則として偶数月の第4水曜日午後を予定。		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	世界遺産を学ぼう	R1	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	世界遺産の基礎知識を身に付け、国内外の世界遺産を学ぶことで、知的好奇心を満たし、講師への質疑応答を通して講師や参加者との交流を図る。	5:地域		世界遺産のマスターを取得した講師より、世界遺産について学ぶ。1回につき、3～4か所の世界遺産に触れることで、国内外に対する見識を深める。知的好奇心を満たすとともに講座に参加するという外出の機会を増やす。		
29	敬老月間イベント「シニア向けスマートフォン講座」	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らすことで、身体活動を活発にしたり、心身をリラックスすることで、介護予防に役立てる	1:高齢者		音楽を楽しむことで脳トレや身体活動につなげ、介護予防する。		
30	「きりがおか健康塾」	R1	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢期における筋力低下予防のための栄養講座と口腔機能維持のための口腔講座を行い、自身の生活を振り返り健康意識の向上を図る。参加者間でのまちともづくりを促進する。	1:高齢者		全3回コースで開催。管理栄養士と歯科衛生士の講師をお呼びし、からだを使いながら楽しい雰囲気の中で参加型の講座を実施。初回と3回目に評価を行う。		
31	敬老月間イベント内容未定「いきいきセカンドライフ～お仕事講座」	R1	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	生活安定や生きがいについて、仕事は一つの選択肢として、定年後の生き方について考える。お仕事の探し方から、履歴書の書き方などを学ぶ。	1:高齢者		ジョブスポット緑よりお仕事の探し方から、履歴書の書き方など、ワークシートを使いながら話していただく。シルバー人材センターよりご説明をいただく。また横浜市シニアボランティアポイント事業について紹介する。		
32	「きりがおか健康塾」ふらっとほっと編	R2	4:共催（1と2）	1:優先的に取り組み	霧の里に普段来所する機会は少ないが、GT1集会所にはよく顔を出されている方々を対象に、介護予防に興味を持つきっかけ作りとして開催。口腔の健康や認知症予防のために必要な知識を学ぶ。	1:高齢者		GT1集会所で、歯科衛生士と運動講師による講義とあたまの体操を行う。		
33	霧が丘フォトコンテスト2024	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	あるテーマを決めて写真を募集しフォトコンテストを行う。展示観覧の目的で来館する機会を創出し、地域住民同士の交流やケアプラザの周知につなげる	5:地域		今回は「横浜のお気に入りスポット」として写真の募集し館内展示の上、一般投票で優秀賞を決める。		
34	霧が丘川柳2024	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	川柳を広く募集しコンテ使途をすることで、地域住民の交流やケアプラザの周知につなげる	5:地域		「私の健康の秘訣」をテーマに川柳を募集し館内展示の上、一般投票で優秀賞を決める		
35	夏休み子どもプログラム(牛乳パックで紙すき体験)	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子どもの居場所づくりとして紙すきの教室を行う。た学年の子どもや地域のボランティアなどとの交流を行う。	4:子ども・青少年		牛乳パックから紙を作り、リサイクルの意識を高める		
36	霧サボ交流会	H26	4:共催（1と2）	1:優先的に取り組み	ケアプラザ事業に協力していただいているボランティアとよこはまシニアボランティアの登録者を集め、活動の様子や意見交換をして、今後の活動に役立てていただく。同時にこれからのケアプラザの事業のサポートを依頼する。	5:地域		それぞれのボランティア活動についての発表や報告を行い、交流をする。		
37	民児協 福祉用具研修	R4	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	霧が丘民生委員児童委員を対象に最近の福祉用具について知ってもらい、今後の活動につなげてもらうために行う。	1:高齢者		福祉用具の正しく安全な使い方について福祉用具専門委員会からの講義及び実習を行う。		
38	霧が丘いきいき健康塾チャージング体操	R4	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、多くの方に声をかけケアプラザで楽しみながら体を動かすことで楽しみ交流しながら介護予防につなげるために行う。	1:高齢者		懐かしい歌を聞き、歌いながら、元気に身体を動かす体操を行う。		
39	霧が丘いきいき健康塾歌って楽しく健口に	R4	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、要介護状態にならないために身体づくりのために行う。	1:高齢者		食事の大切さ、栄養をとることの重要性及び、筋トレの方法を学ぶ		
40	霧が丘いきいき健康塾フレイル予防のための栄養講座	R5	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	敬老月間の特別プログラムとして、おいしく食事をするためには何が必要なのかを知り、フレイル予防にもつなげる	1:高齢者		地域とのかかわりや社会とのつながりが大切であること、お口の手入れの大切さを学ぶ。		

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
41	ベジチェック	R3	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	野菜摂取量を数値で見ること、これまでの食生活を振り返り、管理栄養士からアドバイスを得ることで、健康的な体づくりに繋げる。	1: 高齢者		自分の食生活を振り返り、今日から健康を意識した食生活を始める。		
42	スマホなんでも相談inまちともカフェ	R4	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	スマートフォンやタブレットなどの操作上の疑問点に個別にこたえる。講師はよこはまシニアボランティアポイントを利用した講師等に依頼し、ボランティアの創出にも努める。	1: 高齢者		「まちともカフェ」のスペースを用いて相談を受け付ける。マンツーマンによる相談とし、ボランティアの活用して運用する。		
43	落語で学ぼう相続のこと	R4	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	相続について学ぶ機会を提供することで、老い支度の意識を高める。また落語を取り入れることで相続への敷居を低くする。	5: 地域		R5.10 第一部: 落語で学ぼう 相続のこと 第二部: 知識ゼロでもわかる相続セミナー		
44	ムーブメントクラス	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	保育園の協力で0~3歳児と養育者を対象に療育で用いられるムーブメント活動を取り入れた親子のふれあひ遊びを行う。	3: 養育者及び乳幼児		スカーフや風船、音楽を用いたムーブメント活動を通して、子どもの自発性を高め、日常生活での動作やコミュニケーションの取り方などを学ぶ機会を創出する。		
45	もくもくひろばホームカミングデイ	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	もくもくひろばを卒業した幼稚園等のこどもを中心に交流会を持ち、切れ目のない子育て支援を行うとともに、地域での交流の幅を広げる。	3: 養育者及び乳幼児		お菓子釣りや輪投げなどお祭り要素を取り入れ、楽しみながら交流するとともに、工作や音楽遊びなどで成長を確認する機会とする。		
46	夏休み子どもプログラム「うちわに絵手紙を描こう」	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。	4: 子ども・青少年		うちわに絵手紙を描き、表現方法を学ぶ		
47	夏休み子どもプログラム「カイコの秘密とまゆ玉工作」	R5	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	夏休みのこどもの居場所をつくる。また、カイコのまゆから絹が作られることを学び、SDGsの意識を高める。	4: 子ども・青少年		カイコの一生を学び、カイコのまゆを利用して工作を行う		
48	もくもくひろばリラククス	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	忙しい子育ての合間にリラックスできる時間が持てるようにヨガを取り入れた活動を行う。養育者の息抜きと交流の場として、また、親子のふれあひの場として設ける	3: 養育者及び乳幼児		ベビー&ママヨガの講師を招き、ヨガ体験でリラククスする。		
49	やってみよう! 3B体操	R5	6: 共催(2と3)	2: 発展させるねらい	きりとも元気づくりステーション参加者への活動支援と共に地域の方に地域の活動を紹介し、社会参加の機会を増やす	1: 高齢者		遊びの要素を取り入れ、様々な器具を使って行う3B体操を体験する		
50	UR出張相談会	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	UR賃貸住宅にお住まいの方にケアプラザや包括支援センターの周知するとともに相談しやすい体制づくりを行う	1: 高齢者		UR賃貸住宅の集会所に出張し、測定機器を用いた健康チェック及び相談会を行う		
51	霧が丘地区民生委員・児童委員・ケアマネジャー交流会	R5	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者を見守るためには民生委員とケアマネジャーの連携が必要と考える。そのためにはお互いを知り、困りごと、今後どのようにしたらいいかを共有することを目的とする	7: その他		高齢者を支援する民生委員とケアマネジャーがグループワークで現状と将来の望む姿を話し合う		
52	ハッピーパパ育児	R3	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	父親ならではの子育てのかわり方を学び、地域との交流も図る	5: 地域		横浜市の父親育児支援事業より講師を派遣していただき、体を使った遊び、絵本読み書きなどを教えていただきながら、父親同士の交流も図る。		
53	親子deヨガクラス	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	忙しい子育ての合間にリラックスできる時間が持てるように親子でできるヨガを取り入れた活動を行う。養育者の息抜きと交流の場として、また、親子のふれあひの場として設ける	3: 養育者及び乳幼児		ベビー&ママヨガの講師を招き、ヨガ体験でリラククスする。		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組み	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)				4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
54	公園であそぼう	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	外の自然を見て触って、感じて、五感を使って楽しみながら、子育ての悩み相談や、近所に住む方との国際交流も含めた交流の場を設ける。子育て支援拠点いっぽ、国際交流ラウンジとの共催事業。	3: 養育者及び乳幼児		緑区のケアプラザがそれぞれの近隣の公園で1年間持ち回りで行う。子育て支援の参加者のみならず、公園に居合わせた親子や外国人の親子などを対象とし、ケアプラザの周知にも努める。		
55	ムーブメントクラス	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援事業として0歳～3歳の子どもとその養育者の交流、情報交換の機会を持つ。さらに療育知識のあるまなびの森保育園の職員が子育て中の療育の相談に対応する。	3: 養育者及び乳幼児		まなびの森保育園から、療育知識のある職員に来ていただき、身体を動かして「できてうれしい」「もっとやりたい」という気持ちを引き出し、子どもの自立心を育てる。		
56	オンラインピラティス	R5	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域の方にICTを身近に感じていただくことを目的とする。区生活支援コーディネーター連絡会の事業	1: 高齢者		東本郷地域ケアプラザをメイン会場とし、オンラインでつなぎ映像を見ながら受講する		
57	子育て座談会	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て中のお母さんから、子育てをしている中で具体的などんな手助けや声掛けがあるよいか、現状のニーズについて率直な意見を聞き、今後霧が丘の子育て支援活動(地域ケアプラザ等)での事業やプログラムなどに活用する。	3: 養育者及び乳幼児		霧が丘地域に住む子育て中の保護者5組に来ていただき、ざっくばらんに話をさせていただく。緑区の子育て支援者とも共有する。		
58	出張相談会「介護保険」	R6	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域住民に「介護保険制度」について知ってもらう。介護や支援が必要な方が早期に相談に来られ、必要なサービスにつながることを目的とする。	1: 高齢者		R6.2.27 GT1住民向けに「介護保険制度」についてパワーポイントを使用して説明。		
59	チームオレンジ 映画「オレンジ・ランプ」上映会	R6	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・チームオレンジの啓発活動 ・多世代の方が認知症について考えるきっかけづくり	5: 地域		R6.3.24 映画「オレンジ・ランプ」上映会 若年性認知症と診断された方の実話をもとに描かれた映画。		
60	チームオレンジ 「ロボ隊長」を作ろう	R6	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・チームオレンジの啓発活動 ・認知症キャラバン・メイトのマスコット作りを通して、認知症について知ってもらい、認知症について考えるきっかけをつくる。	5: 地域		R5.10 認知症キャラバン・メイトのマスコットをフェルトで作するためのキット作り。		
61	もくもくプラス親子リトミック	R5	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援事業として0歳～3歳の子どもとその養育者の交流、情報交換の機会を持つ。さらにNPO法人リトミック研究センター指導資格所持ピアノ講師の先生に、親子で楽しめるリトミックで子供との交流の場を作る。	3: 養育者及び乳幼児		奇数月第4木曜日開催 NPO法人リトミック研究センター指導資格所持ピアノ講師の先生が親子で楽しめるリトミックを行う。		